

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 23-006

PDCA	事務事業名	生見平地線道路改良事業	部課等名	建設部 土木課 建設担当	担当 内線等	榊原 440		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち						
		節： 第2節 都市基盤の整備						
		基本施策： 3. 交通体系						
		単位施策： (1) 幹線道路の整備						
	個別施策：	②その他幹線道路の整備促進						
	根拠法令等	—						
	対象・目的	生見平地線における、交通の円滑化と歩行者の安全確保（歩道設置）						
	目的を達成するための手段・活動内容	生見平地線の歩道を設置するため、道路用地買収及び建物移転を進め、道路改良工事を実施する。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		28年度	29年度	30年度	単位	
		①物件調査			0	3	件	
		②道路用地取得面積			0	0	m ²	
		③						
		事業費			0	1,595	千円	
		人件費			635	2,129	千円	
		総事業費			635	3,724	千円	
		活動単位当たりのコスト		28年度	29年度	30年度	単位	
	①物件調査			0	1,241	千円		
	②道路用地取得面積			0	0	千円		
	③							
	成 果	成果指標		28年度	29年度	30年度	単位	
		①事業進捗率	実績値			5.0	%	
			目標値			5.0		
②		実績値						
		目標値						
③		実績値						
	目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある			
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の 評価・課題	B						
		地権者の合意が得られた3件について物件調査を実施することができた。 令和元年度内に工事を完了させるため、計画的に物件補償および用地取得を進めなければならない。						
A 課題解決のための目標	今後の事業 の方向性	現状維持						
		3筆の用地を取得し、関連する県事業と調整しながら、歩道の拡幅工事を完了させる。						
	令和元年度 の目標	成果指標			目標値	単位		
		事業進捗率			100	%		